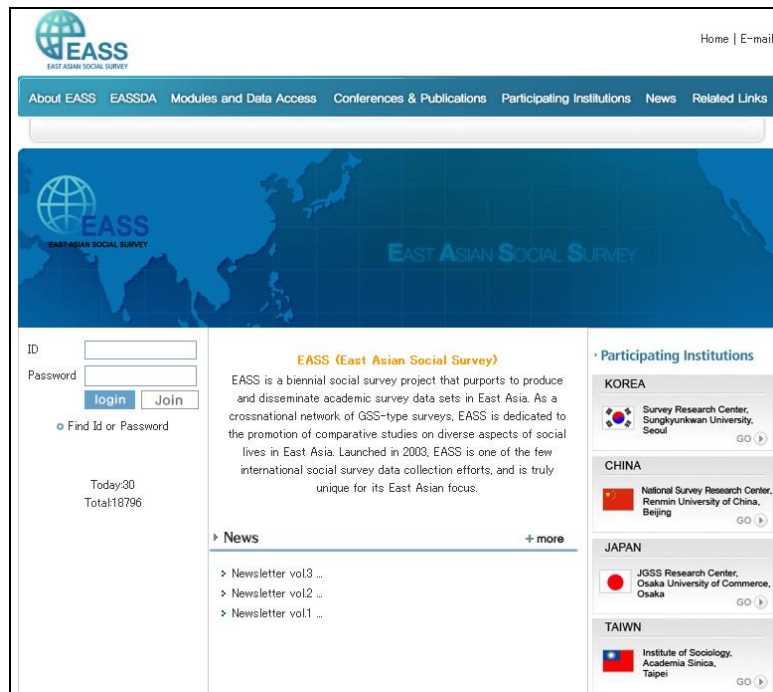


I.7 データの公開状況と入手方法

1. データセットの公開方針

EASS 2018 のデータセットは、本拠点が統合とクリーニングを行い、コードブックの作成とデータ公開のための整備を進めた。EASS 2018 のデータは、2022 年 3 月に、成均館大学 East Asian Social Survey Data Archive (EASSDA) とミシガン大学の Inter-university Consortium for Political and Social Research (ICPSR) に寄託を予定している。

EASSDA では EASS ウェブサイト (<http://www.eassda.org/>) において、データの公開を行っている。SPSS 形式および STATA 形式のデータセットが公開されている。このほか、EASS モジュールの調査票および各国・地域の Study Description Form (調査概要)、Study Monitoring Questionnaire (調査方法の詳細) も公開している。



EASS ウェブサイト トップページ

ICPSR においても、ウェブサイト (<https://www.icpsr.umich.edu/>) で、データが公開されている。EASS データについては、SAS 形式、SPSS 形式、STATA 形式、R 形式、ASC II 形式および Delimited 形式のデータセットが用意されている。このほか、EASS モジュールの調査票およびコードブックも公開されている。

また、本センターが日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」の拠点機関の一つとして、日本学術振興会と国立情報学研究所と共同で構築している「JGSS データダウンロードシステム」からも EASS データを公開する予定である。システムは試験運用を経て、2021 年秋以降に稼働する予定である。

2. データセット利用者の留意事項

データセットの利用には制限・義務が設けられている。詳細は EASS ウェブサイトおよび ICPSR ウ

ウェブサイトに記載されているので、それらを厳守すること。とくに、データセットを利用して研究成果を発表する際には、Acknowledgement（謝辞）を明記すること。EASS の Acknowledgement は下記のように定められているので、そのまま記載すること。

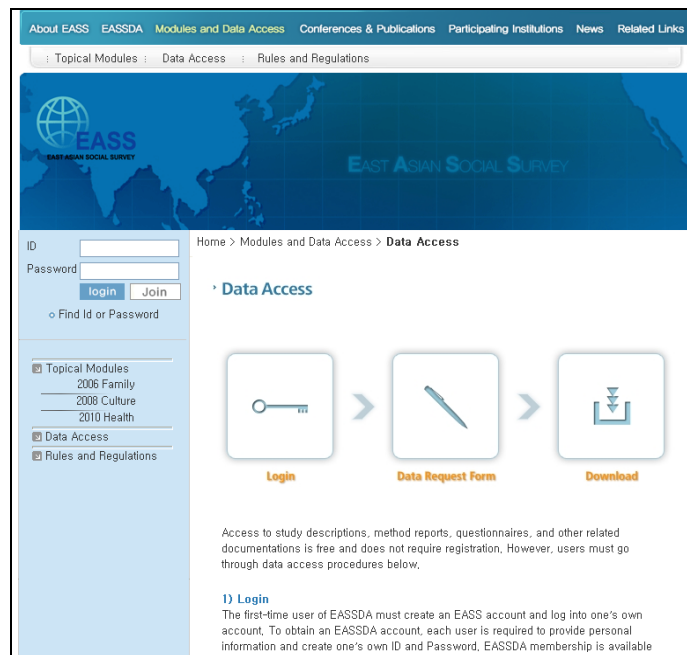
East Asian Social Survey (EASS) is based on Chinese General Social Survey (CGSS), Japanese General Social Surveys (JGSS), Korean General Social Survey (KGSS), and Taiwan Social Change Survey (TSCS), and distributed by the EASSDA.

3. データセットの入手方法

以下に、参考のために EASS ウェブサイトからデータを利用する際の留意事項と入手方法の概要を記す。詳細については、EASS ウェブサイトで必ず確認のこと。

EASS のデータセットを入手するには、まず EASS ウェブサイトでアカウントを作成する必要がある。トップページの[Module and Data Access]から[Data Access]に進み、[Registration Form]に必要な事項をご記入のうえ、ID とパスワードを設定してください。アカウントの取得は個人に限られる。

アカウントを取得し、ログインしたあとは、Data Request Form を記入する。記入後に User Agreement が示されるので、同意したうえで申請を行えば、審査を経てデータの入手が許可される。審査には日数を要する（最大 30 日）場合があるので、早めに申請を行うのが望ましい。



データ入手方法を示したページ（EASS ウェブサイト）

ICPSR における、データセットの具体的な入手方法、利用制限および義務などについては、ICPSR のホームページで確認すること。ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従い、詳細については所属機関の担当部署に問い合わせること。

佐々木 尚之